

作成日：西暦 2026年 6月 9日

「医療高度化に資する PHR データ流通基盤を活用した産業保健支援に関する研究」に参加された方へ

産業医科大学では、以下の研究を実施しております。この研究は、これから実施する調査で得られる情報に基づき実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年3月23日制定 令和3年6月30日施行）」により、対象となる皆様のお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。本研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

1. 研究課題名

医療高度化に資する PHR データ流通基盤を活用した産業保健支援に関する研究

2. 研究期間

研究機関の長の許可日～2028年3月31日

3. 研究機関

産業医科大学 産業生態科学研究所 作業関連疾患予防学

4. 研究責任者

産業医科大学 産業生態科学研究所 作業関連疾患予防学 教授 大神 明

5. 研究の目的と意義

本研究は、日本医療研究開発機構が進める「PHR（個人の健康情報）の活用」に関する事業の一環として行われます。

近年、スマートフォンやウェアラブル機器を使って、睡眠や歩数、体調などの日々の健康状態を記録できるようになっています。本研究では、こうした情報を活用し、働く方の健康をよりよく守る方法を検討します。

また本研究では、このような仕組みが実際の職場でどのように役立つのかについても調べます。そのため、血圧や体温、睡眠時間、歩数、勤務時間などの情報を組み合わせて分析し、体調の変化や健康リスクに早めに気づける仕組みの構築を目指します。

さらに、日々の業務で行われているアルコールチェック（e点呼 PRO）のタイミングにあわせて体調に関するデータを記録・確認することで、仕事の内容や働き方と健康との関係を把握し、この仕組みの使いやすさや効果を検証します。

本研究では、主に以下のような情報を取り扱います。

- ・ 年齢や勤務形態などの基本的な情報
- ・ 睡眠時間や歩数、体調などの日々の健康に関する情報
- ・ 勤務時間や作業内容などの仕事に関する情報

- ・ データがどの程度正しく記録されているか（記録漏れやデータのつながり具合など）

- ・ どのくらい継続して利用されたか、途中で利用をやめた理由
- ・ 操作に関する問い合わせの状況

また、この仕組みを実際に使用した感想についてもお伺いします。

- ・ 使いやすさ
- ・ 負担の程度
- ・ 健康管理への役立ち実感

さらに、産業医や衛生管理者がこれらの情報をどのように活用できるかについても確認します。

■ この情報を集める理由

これらの情報をもとに、

- ・ どのような条件でうまく活用できるのか
- ・ どのような場合にうまく活用が難しいのか

を明らかにし、今後より使いやすく、実際の職場で役立つ仕組みに改善していくことを目的としています。

なお、この研究は病気の診断や治療を行うものではありません。

健康状態を把握し、よりよい健康管理の方法を検討することを目的としています。

6. 研究の方法

本研究は侵襲を伴わない観察研究です。生体情報、行動情報、労働関連情報をスマートフォンやウェアラブル機器等から取得し、研究用 ID で管理します。

本研究では、以下のような手順でデータを取り扱うことを計画しています。

- ・ 研究への参加に同意いただいた後、あなたには「研究用 ID (番号)」を割り当てます。

この番号を使ってデータを管理するため、氏名などの個人情報とは切り離して取り扱われます。

- ・ ウェアラブル機器 (SOXAI RING) を使用する方には、機器の使い方 (装着方法、データの同期方法、充電方法など) をわかりやすくご説明します。

- ・ アルコールチェック (e 点呼 PRO) を実施している事業場では、点呼の記録やアルコール測定結果・血圧など、実施した日時などの情報を、研究に必要な範囲で利用できるよう設定します。

- ・ 健康や生活に関する情報 (体調、活動量など) や、勤務時間・作業内容などの情報は、スマートフォンのアプリ (健康日記) やウェブによる問診票を通じて収集されます。

- ・ 集められたデータは、研究用 ID を使ってまとめられ、名前などの個人が特定できる情報を除いた形で分析に使用されます。

- ・ 研究期間 (上記情報を取らせていただく期間) は事業場により変わる場合がありますが、3ヶ月から6ヶ月の間を想定しています。

7. 個人情報の取り扱い

個人情報は、分析する前にデータや試料の整理簿から住所、氏名、生年月日を削り、代わりに新しく符号をつけ、研究責任者が管理し、個人情報の漏洩を防止

します。この研究で得られたデータは、学内の規定に従い、原則として、資料（文書、数値データ、画像など）は、当該論文等の発表後 10 年間、試料（実験試料、標本）や装置など「もの」については、当該論文等の発表後 5 年間保存された後、全て廃棄します。その際には研究責任者の管理の下、匿名化（個人識別不可能）したことを確認し、紙媒体のものはマスキングを施した上でシュレッダー処分し、電子媒体のものは復元不可能となるよう初期化を行い、個人情報外部に漏れないように対処します。また同意が撤回された場合には、その時点までに得られたデータや試料を同様の措置で廃棄します。

8. 得られた情報の利用目的の範囲

- ・ 学術発表など研究目的：あり
- ・ 第三者提供：あり（論文投稿雑誌の要求がある際に限る）
- ・ 海外への提供：あり（論文投稿雑誌の要求がある際に限る）
- ・ 公的データベース等への登録：なし

9. 問い合わせ先

産業医科大学 産業生態科学研究所 作業関連疾患予防学 教授 大神 明
(093-691-7471)

10. その他

本研究に参加することによる直接的な利益はありません。また経済的負担や謝礼もありません。本研究は一切の利益相反はなく、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。